

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 41 号

平成 13 年 3 月 1 日発行

編集者 川添 一郎

発行 三水会（北里大学
水産学部同窓会）

事務局 〒246-0031 神奈川県横浜市
瀬谷区瀬谷5-22-1

TEL・FAX045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388

三水会20周年記念講演会を開催して P 2

20周年記念親睦会に参加して P 6

三水会20周年記念行事に参加して P 3

若手研究者奨励賞・第28回漁火祭報告 P 7

漁船海難遺児育英会より感謝状賜る P 3

見たい・知りたい・話したい P 8

20周年記念親睦会 写真館 P 4～5

OB会案内、親睦会案内

OH Pを用いながら講演の井田先生



三水会設立20周年記念講演会、親睦会開催される



大漁旗をバックに講演する清水國明氏

親睦会にて御挨拶される神谷学部長



親睦会にて、野村・藤野両先生

記念講演会を開催して

実行委員長 5FF 水野 幸司

平成十二年十一月四日に、北里大学水産学部同窓会設立二十周年を祝う記念講演及び親睦会が、池袋サンシャインシティにて盛大に行われました。当日は会員の皆様、神谷水産学部長をはじめ大学関係の皆様、そして三陸町より中村助役をはじめ役場職員の方々総勢二百五十名の御参加を頂きましたことを、実行委員長として三水会を代表いたしましてお礼をのべてさせて頂きま

す。そして当日の講演と親睦会の様子をご報告いたします。「人間と海そして自然」のテーマで井田教授による講演ではなつかしい三陸での授業風景ながらに、耳を傾ける会員のまなざしが印象に残りました。又、タレントの清水國明氏には「アウトドアスポーツと自然」をテーマに講演を頂き、氏のゼスチャーを交えた軽快なトークに会場全体が笑いのうずき込まれておりました。そして、予期せぬことに話しは井田教授と清水氏の自然と人との関わりをめぐるの真剣で熱いバトル・トークにまで進みましたが、最後は両氏の握手となり、会場は割れんばかり

の拍手のうち、閉会となりました。

親睦会は会場を水族館へと移し開催されました。講演には間にあわなかった会員も続々と駆け付け、館内いっぱいに、昔を懐かしむ研究室ごとのグループが出来、それぞれ盛り上がりを見せておりました。又、私事で恐縮ですが、太田静行先生にお目にかかれてうれしく思いました。

最後になりましたが、私達三水会役員は今後も会の発展のために、努力する所存であります。そしてそれは、皆様の暖かいご支援、ご協力をなくしてはできませんので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



(財)漁船海難遺児

育英会より感謝状賜わる

3FA 長谷川一敏

三水会が発足当初よりつづけてきた寄付金に感謝状を平成十二年十一月四日、二十周年記念親睦会の会場にて育英会より授与されました。

私達三水会会員は水産を学びその多

くの卒業生が就職している水産業界その最前線の生産現場では近年技術革新や安全対策等により海難事故の発生は減少傾向にあるものの毎年2000(

300名前後の方々)が犠牲になっています。このような海難事故で親を亡くした子供たちに学資の給与や奨学金の貸与等の育英事業を行なっている漁船海難遺児育英会に三水会は今後も励ましの手を差し延べて行きたいと考え

ております。

なお、この度の感謝状は二十周年記念親睦会の会場にお忙しい中かけつけて下さいました(財)漁船海難遺児育英会、専務理事 小川宏一様より賜りました。厚くお礼も申し上げます。

〔寄付金等の連絡先〕

〒101-0047

東京都千代田区中神田2-2-1

TEL・FAX

03-3256-1981(代)



感謝状を読み上げる小川専務理事



中村三陸町助役の挨拶

ように思います。講師の方々の笑顔で話す顔がとても印象的で、実体験をもとに語りだされる一言、一言には、どこか説得力があり、また、親近感をおぼえました。自分自身

にとってそれが素直にうけいれることができ、勉強になりました。

また、親睦会におきましても、同窓生の方々が大学時代の話に花を咲かせながら、三陸時代を懐かしむ光景があらこちらで見うけられ、三陸町民である私もうれしく感じ、「北里大学水産学部が私たちの町にある」という誇りと、「三陸町を良きふるさとと感じてくれてる人がいる」という喜びと同時に改めて町に対する誇りも感じることができました。

最後に、今回お世話くださった心より感謝しますとともに「三陸」という共通の言葉で、いつまでも三水会会員が一層団結を強め、益々ご活躍されるようご期待するとともに、三水会のご繁栄を心より祈念申し上げます。

三水会創設二十周年 記念公演会「パーティーへ 参加して」

三陸町広報課 八巻 雅之

まずもって、北里大学水産学部同窓会（三水会）創設二十周年記念事業の成功に対し心よりお祝い申し上げます。

三陸町からは私を含め十二人で参加し、とても貴重であり、意味深い交流をさせていただきました。三水会事務局の皆さまの周到な計画とご配慮のおかげで、都会でのひとときの時間がとても新鮮であり、また、心地良く感じられました。

講演会では、「人と海、そして自然」をテーマに、北里大学水産学部・井田教授と、タレントの清水國明氏が、身近なことを題材とし、私たちが忘れかけている大切な何かを、教えてくれた

総 会 案 内

平成13年度 三水会定期総会

平成13年度定期総会を下記の通り開催致します。役員、代議員の方はもとより一般会員の方もご参加出来ます。お待ちしております。

日 時：平成13年5月12日（土） 午後1時30分～2時30分
場 所：北里大学薬学部E号館802会議室（白金校舎内）
懇 親 会：午後5時～

若手研究者研究奨励基金の募集

第13回 北里大学同窓会若手研究者研究奨励金の 募集についてのお知らせ

1. 応募資格者：北里大学卒業後15年未満の研究者（個人）
2. 奨励基額：30万円
3. 応募締切：平成14年1月末日
4. 応募方法：応募要領と用紙は同窓会事務局にありますのでご請求下さい。

TEL.03 - 3446 - 7309

||||| 20周年記念 親睦会 |||||

記念親睦会での写真を御分けします。(有料) 御希望の方は3月末日までに三水会事務局までTEL、FAX、又は御葉書にて申し込み下さい。

(FAX、ハガキで申し込みの方は、住所、氏名、卒業期、出身研究室、写真No.を記入して下さい。)



写真館



三水会二十周年記念
事業寄付者御芳名一覽

(受付順)

川添 一郎・小沢 昭宏・内藤 文隆
田代 茂年・宮崎 道之・高橋 義男
日比 敏夫・樋谷 尚之・岡部 賢一
堅田 聡一・榎谷 仁・徳永 規
新妻 裕子・中野 剛志・飯田 一夫
窪田 裕・中村 年彦・石井 雄
御協力ありがとうございました。感謝
申し上げます。

三水会設立二十周年記念 親睦会に参加して

16AF 配山 尚幸

全国で御活躍の三水会の皆さん、お元気ですか？十六回生の配山尚幸 (haiyama@sage.ocn.ne.jp) です。

親睦会に参加しての感想は、「淋しい」の一言です。会場は満席の状態であつたのですが、同時期に三陸にいた仲間の顔が極端に少なかった。ただ、講演会での井田先生と清水國明氏の両氏が登壇する2部構成は、楽しませて頂きました。「現在の三陸の様子と環



境の変化」と「アウトドアでの自然へのアプローチ」といった内容で、楽しい講演となりました。その後、サンシャインの水族館を借り切つての親睦会。グラスを持って館内を廻ると、懐かしい先生に会えました。凍つた路面でクラッシュ！迷惑をお掛けした山森先生。その話をするとよく覚えていて、あの時の車は新車で何でも最近、買い換えられたとの事。先生、あの時は本当に迷惑をお掛けしました。いつのまにか、広場の壇上ではジロー先輩（永瀬二郎さん）他、数人で「ヒヨコ節」を披露していました。次は、島根先輩の「ドンパン節」やゴンゾ先輩の「水産放浪歌」も聴きたいものです。この時に報告されましたが、来年か再来年には「大漁踊り」も無くなるとの事、あの時に参加した仲間の記憶の中にしか残らないのです。

終盤は、撮影会となり「野村先生を囲んだ微生研究室」と「太田先生を囲む会」に混ざりました（送付お願いします）。親睦会終了後は、微生の研究室の皆さんと居酒屋で、オートクレーブッキングで生み出されたメニューやサンプリング後の鮑の供養の仕方（当然答えは1つ）等で盛り上がりました。野村先生、全国行脚のおりには是非、奄美にもおこし下さい。

最後に、今回参加できなかった微生・

柔道部・及川ア
パートそして鹿
児島三水会等の
皆さん、次の三
水会でお会いし
ましょう。

右端前
配山尚幸君



若手研究者 研究奨励賞を受賞して

20FF 山口 政人

この度は、北里大学同窓会若手研究者奨励賞を頂きまして誠に有り難うございました。私は学生時代、水産資源化学講座神谷久男教授のもとでアオコを形成する藍藻のレクチン研究を始めました。その後、東北大学大学院農学研究科村本光二教授のもとでさらに研究の機会を頂きました。本稿はこれまでの研究を紹介致します。

生体内では、多種多様な分子が特定の相手と相互作用し合つて生命活動が維持されています。細胞の内外で巧妙に発現調節を受けながら、糖鎖構造を特異的に認識して結合し、多様な生理機能を発揮するタンパク質であるレクチンもそうした分子の一種です。レク

チンの機能は異物認識、細胞間あるいはマトリックス間相互作用の調節、胚の発生分化への関与など高等動物を中心に明らかにされてきています。一方、私が研究対象とした藍藻は植物型光合成を行う原核生物であり、極地、温泉、乾燥地などあらゆる環境に適応して生息しています。夏季の富栄養な湖沼で発生するアオコ現象もまた藍藻（主に有毒種）の異常増殖によるものです。そのため湖沼から生活用水を得ている地域では特に問題視されており、現在、有毒藍藻の生理学的特性を多面的に解析することが急務となっています。私

卒業パーティー 神谷先生宅にて



はこのような生態学的に特異な藍藻に着目し、未解明であったレクチンに焦点を当てて研究を始めました。二種の有毒藍藻から初めて単離したレクチンはユニークな繰り返し配列構造をもつこと、レクチンの発現量は藍藻の増殖が抑制されるような環境条件下で増加することを明らかにしました。本研究成果は、新規なレクチン機能を示唆するものであり、有毒ラン藻の環境適応機構と細胞内メカニズムを解明する研究の糸口となるものと考えています。

また、その特徴ある分子構造からレクチンの糖鎖認識の仕組みを解析する構造と活性の相関研究においても興味深い知見が得られるものと考えています。

本研究は、多くの先生方のご指導と研究室仲間の励ましに支えられて行うことができました。この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

最後に、三水会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍をお祈りし、お礼の言葉に代えさせていただきます。

第二十八回 漁火祭

実行委員長 相原 友子

今年度の第二十八回漁火祭は前夜祭を含め十月二十日(金)から二十二日



(日)の三日間を三陸の青空の下開催されました。

今年度は二十七年間続いてきた伝統ある大漁踊りが時代の流れや人材不足という大きな問題を抱え幕を閉じることになってしまい、今まで伝統を築き上げてきた先輩方、それを支えて下さった方々に感謝の気持ちを表わそうと体育会文化会・漁火祭実行委員会は力をあわせて準備をしてきました。

漁火祭一日目の午前中は軽音部のラ

TOPICS

水産学部 厚生大臣 表彰の受賞

北里大学水産学部では、長年にわたる献血推進の功績で厚生大臣表彰を受けました。県内の献血推進協力団体への厚生大臣表彰と感謝状伝達式、県知事と日赤県支部長感謝状贈呈式は十月二十七日盛岡市で開かれ、関係者合わせて三十人が出席しました。

最高の名誉となる厚生大臣表彰は、本学水産学部と水沢市の電気会社の二団体が受賞し、県知事代理から表彰状と記念品の有田焼花瓶を手渡されました。また、大臣感謝状は六団体、知事と日赤県支部長感謝状は十六団体に贈られました。

なお、表彰は学生達が開学当時から献血事業に対して定期的に協力してき

イブに始まり「フリーマーケット」や「パーラービーズ作り」、なかでも「もちつき」は来場者の方々と一緒にもちをついて出来たてを配り、その時は行列が出来たほどでした。

二日目は昨年、地元の方々との交流を持つ為に「よき恋踊り」の嵐舞連の方を呼んで踊っていただき多くの来

場者の足を止めていました。「ダルマ落とし」や「ペットコンテスト」など他の企画も大盛況でした。

今年度の漁火祭が成功に終わったのも指導して下さった顧問・学生課・事務の皆様・三水会・スポンサーの方々のおかげであると思っています。本当にありがとうございました。



犬山知樹前執行委員会委員長・山森学生課長

たことが認められたものです。大学では献血日程を掲示板で周知し、最近では年に三回定期的に献血車「まじん(RED)」がキャンパスを訪問することになっており、毎回五十人程度の学生が自発的に献血車に乗り込んで協力しています。

見たい・知りたい・話したい

◆ 関東地区親睦会案内 ◆

三水会では、毎年、関東地区の会員とご家族を主な対象とした親睦会を開催しておりますが、本年は、千葉県木更津市の金田海岸において、「潮干狩り」を行うとともに、昨年7月にオープンいたしましたスパ・リゾート「スパ三日月・龍宮城」を楽しむ企画で、下記のとおり開催することといたしましたので、ご家族を含め、多数の方々のご参加をお待ちしております。

参加をご希望の方は、会員名、卒業年、住所、電話番号、参加者数(大人・小人別)を明記し、郵送またはFAXにて6月30日までに事務局までお申し込み下さい。参加希望者には地図等詳しいご案内を差し上げます。

開催日時：平成13年7月21日(土) (午前9時現地集合)

集合場所：金田漁協 潮干狩り場「スパ三日月・龍宮城(木更津市北浜町1番地)」に隣接。

申込先：三水会事務局 〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1 TEL・FAX 045-303-3135

会費：大人2,000(中学生以上)・小人1,000(4歳～小学生以下)

◆ OB会案内 ◆

■ 太田先生を囲む会

旧利用学研究室(太田教室)の皆様いかがお過ごしでしょうか。今般太田先生を囲みOB会を下記の日程で行いたいと思いますので、連絡をお待ちしています。

またOBの方々の近況をお知らせ下さい。

日時：平成13年4月14日(土) 午後1時

場所：赤坂 やげん亭 TEL 03-3587-0688 港区赤坂3-12-2(赤坂慶和ビル2F)

連絡先：伊藤 知尋(4回生です。) TEL 03-5934-7876 mail:zenpukuji-park@jcom.home.ne.jp

■ 海洋分子生物学研究会 OB会 (LME 同窓会)

毎年恒例の川内浩司教授を囲んだ平成13年度LME同窓会を下記の日程で行います。同窓生の皆様ふるって参加下さい。

日時：平成13年4月1日(日) 午後2時～5時

場所：新高輪プリンスホテル 桃李(北京料理) (TEL 03-3442-1111)

連絡先：北里大学水産学部海洋分子生物学講座

高橋明義 (TEL 0192-44-1925)・森山俊介 (TEL 0192-44-1926)

会費：10,000

■ 食品化学研究室 OB会

今年、還暦を迎えられます長久先生を食品化学研究室卒業生で祝う会を2001年5月26日(土)に開催の予定です。佐藤先生はじめ、恩師の方々もお見えになります。皆様で楽しい一時を過ごしましょう。尚、研究室OBの方々には後日葉書にて詳細をお知らせします。

連絡先：水野 幸司(5期) TEL 03-5489-0351(昼間)・TEL 090-3409-2418(携帯)

編集後記

新世紀、皆様どの様に迎えられましたでしょうか。三水会は昨年20周年を迎え、心新たにスタートラインに立ちました。先日、昭和55年10月5日発行の三水会会報創刊号に目を通す機会がありました。初代編集者、田代茂年さんの編集後記「今後、この会報誌を形にこだわらない楽しくハッピーなものにして皆様に愛されるようにしていきたいと思っています。」と締めくくってありました。先輩達が築き上げたこの伝統21世紀も引き続いていきたいと思っています。

【お詫び】第40号三水会会報の中で川内浩司先生の御名前に誤りがありました。又、20周年記念号の(株)昭和様の御住所に誤りがありました。正しくは下記の通りです。謹んでお詫び申し上げます。

水産・一般食品・冷凍・業務食・酒類の総合食品問屋

 **株式会社 昭和**

代表取締役社長 青山 和暁

本部 〒492-8602 愛知県稲沢市福島町中之町80 TEL(0587)34-3400・FAX(0587)34-3410

営業所 愛知・三重・静岡・埼玉